

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	遊具施設等安全対策事業			会計	款	項目	大専	小専
				01	08	04	07	05
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	みどりの課			
施策	1-1	生態系に配慮した公園・緑地・水辺等空間の整備・管理		主管課長	本田 英師			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	公園遊具施設	意図	市民が憩い安らげる場を提供するため、適切な公園施設の整備・管理を行う。
事業内容	既存の公園遊具施設等の補修改良の安全対策工事を行い、身近な憩い安らぐ空間を確保する。			
事業開始から現在までの状況変化	公園遊具施設の老朽化が進んでいる。市民の公園に対する要求が高度化してきている。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	対象遊具施設等	63	77	30	基
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）  
平成26年6月に公園遊具の安全基準が見直された。基準に基づき、見直し及び耐久年数を考慮して、優先順位をつけて実施している。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	62,920,344	69,220,472	68,004,044
事業費(b)(円)	49,190,344	55,796,472	54,820,044
うち一般財源	49,190,344	55,796,472	54,820,044
職員給与費(c)(円)	13,730,000	13,424,000	13,184,000
人役・職員(人)	2.00	2.00	2.00
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	地元自治会や専門業者の点検を踏まえ遊具の改修を行う。	③取組における課題(Check)	危険施設を早期に発見できるように、地元自治会と密に連携することが求められる。
②H30に実施した取組(Do)	危険施設を早期に発見できるように、地元自治会と密に連携することが求められる。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	安心・安全な公園を目指すため、早急な対応にて遊具の改修を行う